

たかしま やったろうde高島

企業や大学と連携する珊瑚ツーリズム



体験後の感動に溢れる笑顔



テーブル珊瑚とソラスメダイ

上級者のスキndaイビング

取組概要

- 離島の活性化に取り組むためH22年に設立。サンゴと熱帯魚を観る「シュノーケリングピクニック」を創出。修学旅行生に体験メニューを提供。
- 島特産の養殖ヒラメを活用した寿司、天ぷら、しゃぶしゃぶなど宿泊施設で提供するメニューを創出し、提供。
- H29年より企業と連携し、珊瑚再生の取組をスタート。珊瑚再生器材を開発した大学の現地視察、現状の珊瑚生育地図の作成の調査を実施。

活動成果

- シュノーケリング体験ツアーは個人客をベースに毎年1,000名以上を維持。約半数は県外の体験者で海外からも毎年20名程度が利用。3割程度がリピーター。
- 体験民宿も300名程度の宿泊客があり、ヒラメ料理も好評で、特に他府県の方に高い評価を得ている。
- 企業との連携は今後の活動に大きな展望が開ける可能性。修学旅行の体験メニューに組み込まれたことは、次のステップへ移る布石となる。

やったろうde高島

長崎県長崎市高島町2709番地5

Tel :095-896-3510 Fax : 同左

といし あさいち 戸石フレッシュ朝市運営協議会

新鮮な旬の農水産物の直売による地域活性化



戸石フレッシュ朝市運営協議会の皆さん



東京からの観光客受入



観光客にハモをさばいて見せる

取組概要

- H13年に地元漁業者、農業者、商工会のメンバーで協議会(会員101名)を設立し、直売所での農水産物等の販売を開始。
- 夏の「はも、わたりがに」、冬の「ふぐ、かき」など、旬の魚をメインにイベントを実施。「漁師めし(炊き込みご飯)」の商品開発を行い、H28年から販売。
- H22年から地元の水族館等と連携したツアー等を受入。H28年から、関東からの旅行客をターゲットに受入れ開始。漁師めしや旬の魚の刺身などを提供。

活動成果

- 直売所は、半端物等が販売でき、生産者の収入確保の場となり、地域にとっても農水産物の主要な購入先として定着(売上は4000万円程度で推移。)
- イベントや地元飲食店と連携した「料理フェア」、養殖カキの収穫体験など幅広い活動で、地元消費と交流人口が増加。
- 消費者の声を受けて開催した「魚のさばき方教室」、惣菜や加工品の開発など消費者を考えた新たな取組につながっている。

長崎市たちばな漁業協同組合
長崎県長崎市戸石町1519-34

Tel :095-830-2236 Fax : 095-830-2631

う く まち う く じ ま
宇久町観光協会、宇久島グリーン・ツーリズム振興会

宇久の暮らし 島人生活体験の構築



堤防釣り体験



和牛飼育体験



民泊体験

取組概要

- 宇久島の観光資源をフル活用した観光振興のため、農泊経営者等で構成する当振興会をH25年に設立。観光協会と連携して体験型観光を推進。
- 振興会は会員39名による農家・漁家民泊を実施。観光協会は磯づりなど海体験、アスパラ収穫など農体験、島料理づくり体験などメニューを開発し提供。
- 島唯一の高校「宇久高校」が取り組む魚醤の商品開発、宇久島ストリートビューの製作等を支援。

活動成果

- 観光協会と振興会が車の両輪となって事業を推進したことにより、徐々に観光客や宇久島へのIターン者も増加し活気も戻りつつある。
- 民泊経営者は、人との交流による温みの大切さを再認識している。修学旅行などの団体客の受入れに向け、民泊家庭の拡充を図っている。
- 民泊や体験型観光をより集客力のある事業とするため、交付金を活用して観光事業のビジネス化に取り組みたい。

宇久町観光協会

長崎県佐世保市宇久町平3004-1 Tel : 0959-57-3935 Fax : 0959-57-3935

株式会社 トノウ

農家と移住者で農業の新しい形を創る！



発起人(11人)と従業員1名 設立時



オンラインショップ

<http://totonou-shimabara.com>



メインの野菜セットの一例

取組概要

- 代表はH28年1月に地域おこし協力隊として農業の新しい形を創るために移住。11人の島原半島の若手農家の出資のもと同年9月に株式会社設立。
- 年間取扱品目が年間約300種類以上という強みを活かした「野菜セット」を中心としたネット販売をH29年より開始。
- 東京の貿易会社と業務提携を行い、首都圏での販路の拡大を推進。生鮮品の輸出も視野に海外の健康食品と「しまばら野菜」をテーマにモールを準備中。

活動成果

- ネット販売は当初30人ほどであったユーザー数が現在約220人まで増加。また、販売用の農産物の生産協力農家件数は15件から32件に増加。
- 若手農業者が、会社組織の一員という意識、また自らの農作物への責任を自覚することにより、意欲が向上。この2年間で2戸の農家が法人化。
- 地域内メディアやイベントに多数のせることで、この取組への理解が地域内で深まっていることを実感。

株式会社 トノウ

長崎県島原市本町乙487-1

Tel : 0957-73-9423

Fax : 0957-73-9424

社会福祉法人じゅもん会

熱中症対策は福祉農園の社会貢献から



福祉農園温室外観



緑のカーテン設置例

パッションフルーツ挿し木

取組概要

- 障害を持つ方の職域拡大を目的に、10年ほど前から農作業に取り組み、その過程でグリーンカーテン用のパッションフルーツ苗の生産を開始。
- 冬季、凍結による苗の枯死を防ぐため、温度管理可能な温室を整備。また、車いす利用者でも作業できるよう通路部の舗装など環境を整えた。
- 熱中症対策や温暖化対策として、自治体や企業での導入、東京オリンピックでの導入に向けPR活動等を進めている。

活動成果

- 効果的なパッケージデザインや、福祉団体の製作作品販売イベントへの参加で、農業分野の就労について問合せや取材が寄せられた。
- 福祉から就労に向けて、工賃向上に結びついており、農業分野での自立支援という面でも成果を上げている。
- 従来農作業に興味がなかった利用者や、車いす利用の方も、パッションフルーツの生育業務を担い、職員と共に販売活動に参加するなどの成果があった。

社会福祉法人じゅもん会
長崎県諫早市小船越町680-1

Tel :0957-25-3300 Fax :0957-25-3233

株式会社ふれあいファーム

農業を通しての福祉活動



ハウスで生産を担当する従業者



収穫を待つサラダホウレンソウ

取組概要

- ホウレン草、トマトの農業生産法人。障がい者支援施設に作業を委託。障がい者の自立的活動と就労の場を提供。
- 主な作業は収穫、選果、袋詰め、箱詰めであり、作業を細分化し、障がい者が自立して作業し易くしている。
- 社員の高齢農業者が、孫・子と同年代の障がい者に毎日、野菜の管理、収穫、生育を教えながら作業。一般市民、児童・学生が園芸ボランティアとして障がい者と作業する「ふれあい活動」を実施。

活動成果

- 現在25名の障がい者が作業を行い、ホウレン草7t、トマト50tを生産販売。障がい者はやりがいと自負を持ちながら作業している。
- 障がい者は、この活動によって経済的にも自立し、グループホームなどで生活することが可能となった。
- 「ふれあい活動」では、ともに作業する中で、障がい者がボランティアに作業を教える場面もあり、障がい者への親近感と理解が広がっている。

株式会社ふれあいファーム
長崎県大村市富の原2-424-35

Tel :0957-47-8335 Fax :0957-47-8336

た び ら

田平地域農業活性化協議会

農業を核とし地域資源を活用した農村活性化



タマネギ機械化体系展示



労力支援組織の設立に向けた協議



集落営農法人事例研修

取組概要

- H26年に田平地域(旧田平町内)の農業活性化を図るため、17の農業関係団体代表者を構成員として設立。H27年に住民主体で地域の将来ビジョンを作成。
- 労力支援組織の設立に向けた協議、耕地の有効活用に向け、飼料稲WCSとブロッコリー等の展示圃の設置等推進。
- 地域資源の活用による地域活性化を図るため、地場産品を活かした地域のPR、都市住民等との交流人口拡大に向けた取組みを推進。

活動成果

- 今年度中に労力支援組織が設立される見込みであり、農業の地域労力支援システム確立を進めている。
- 協議会活動により、労力支援組織の構成員拡大またはヘルパー組織等も含む同様の組織数を増やしていきたい。
- 新規の作業受託組織や集落営農組織の育成に取り組み、田平地域全体の活性化につなげていきたい。

田平地域農業活性化協議会

長崎県佐世保市吉井町大渡80

Tel : 0956-41-2033 Fax : 0956-64-2239

ねしこ 根獅子集落機能再編協議会

根獅子発！小さな集落の循環型プロジェクト



玄界灘を後ろに久留米大生オーナー田植体験



平戸市生涯学習大学



冬の一大イベント「ねしこ食まつり」

取組概要

- 荒廃農地も活用した都市住民・大学生等の農業体験学習、美しい浜を活かした自然体験等のツアーを受入。古民家の改装で交流施設を整備。
- 郷土料理を住民が持ち寄り「ねしこ食まつり」を開催。おせち料理、弁当、オードブル等を開発・販売。
- 自然農法栽培ねしこビワの販売や、荒廃棚田の活用で生産した米を用いたオリジナル純米酒の醸造・販売。

活動成果

- 潜伏キリシタン関連世界遺産の緩衝帯の荒廃農地を再生。棚田段畑オーナー制度を実施し、収益を得て景観保全が図られた。
- 都市住民の往来が増え、産物の販売額も増加。海外及び国内児童・生徒の体験学習も増加。人材育成に向け、平戸市生涯学習大学を開講
- 郷土食の活用により、女性主役の経済活動につながった。

根獅子集落機能再編協議会
長崎県平戸市根獅子町1840

Tel :0950-28-2075 Fax : 同左

一般社団法人まつうら党交流公社

ほんなもん体験



地引き網体験



田植え体験



民泊

取組概要

- 松浦市、平戸市、佐世保市で体験型修学旅行を受入。当公社は学校・旅行社への窓口対応等を、各市の13組織1団体は現場管理を、各組織に加入する会員（農林漁家）は修学旅行の受入を、それぞれ担う。
- 体験メニューは農林漁業、田舎料理、シーカヤック等80種類を提供。会員（500戸）は体験と民泊をセットで提供。また、修学旅行閑散期にインバウンドを含む一般客の受入れに向け、ホームページ作成等PR活動を実施。

活動成果

- 年間160校3万人前後を受入れており、H30年度には、累計30万人を達成見込。一般客の受入も増加（H29年度750人）
- 生徒さんは、農林漁業と民泊の体験で、地域の食文化や生活、農水産物の価値を知り、コミュニケーション能力を高めている。受入れ側は、生徒さんが感動する姿を見て、自分の生業に自信と誇りを覚えている。
- 体験指導料や民泊料を始め、関係者の宿泊等地域の経済効果になっている。

一般社団法人まつうら党交流公社
長崎県松浦市志佐町浦免1808番地1

Tel : 0956-27-9333 Fax : 0956-27-9334

つしま 対馬グリーン・ブルーツーリズム協会

国境の島・対馬で暮らしを通じた国際交流を



韓国からの研修旅行の受入れ



「島の達人入門塾」

取組概要

- H17年設立。H28年に事務局を市から民間に移行。民泊受入会員の拡大を推進。現在、民泊会員は32軒。
- 季節ごとの農林漁業体験や郷土料理体験「対馬を暮らす旅」を提供。事務局に韓国人スタッフを受入れ、韓国人観光客の増加に対応。
- 今年度、新たに「夏休み子ども農山漁村体験合宿in対馬 島の達人入門塾」を開講。

活動成果

- 農泊の利用者は、年々増加し、H29年は3,648人。うち事務局幹旋は1,314人であり、内訳は、①農林漁業体験の一般観光客、②大学生のフィールド実習（「原点を学ぶ旅」）の研修客、③外国人観光客がほぼ3分の1ずつとなっている。
- 農泊の許可取得件数も事務局のPRと個別訪問、申請手続きの代行サービスにより年々増加。

対馬グリーン・ブルーツーリズム協会
長崎県対馬市上県町志多留307

Tel : 0920-85-1755 Fax : 0920-85-1756

じ 地のもん工房 増栄丸

島の幸を生かした 新鮮・手作り惣菜

五島の海の幸を活かす惣菜。

Side dishes utilizing the bounty of the sea of Goto.

五島列島 福江島の東北に位置する「梶島」。豊かな漁場に恵まれた島で、古くから活きが良い魚介類が水揚げされる事で知られる島です。

そんな梶島にある民宿「増栄丸」では、女将と地域のおばあちゃん達が、古くから伝わる味付けで、昔ながらの惣菜を手作りしています。そんな懐かしい味わいの惣菜を全国にお届けできるようになりました。

※ネット販売中の商品

小あじ昆布巻き、小あじ南蛮漬、同ゆず風味、キビナの南蛮漬、同ゆず風味、鯖の昆布巻き、鯖の南蛮漬、イトヨリ・レンコダイの一夜干し、キビナゴの一夜干し、キビナゴの鍋セット、キビナゴの醤油漬、あじ・鯖の一夜干し、ノドグロの一夜干し



スタッフの皆さん



商品例(鰯の昆布巻き)



商品例(ノドグロの干物)

五島列島 梶島にある、知る

民宿 増栄丸のお

取組概要

- 五島市梶島で民宿・遊漁船業を経営。来客者に地の魚を使った料理を提供。これが好評であったこともあり、島の活性化も視野に加工品の製造を開始。
- 平成22年に小規模な加工場を整備。来客者へ提供しながら、県内外へ向けたインターネット販売を開始。全国各地の百貨店等の物産展に出店。
- 平成26年度には、離島活性化交付金を活用し、新たに加工場及び加工機器等を整備して生産体制を充実。

活動成果

- 長崎県産品・特産品のサイトにも紹介されるようになり、全国各地の百貨店等での展示販売などに伴い、購入リピーターも増加するなど、徐々に成果が上がってきている。
- 加工場は、島の女性及び島内移住者の就労の場・活動の場としての効果も上がってきている。
- 梶島の特産品として定着し、地元出身者のお土産としても好評で、島外へのPRにもつながっている。

地のもん工房 増栄丸

長崎県五島市伊福貴町592-10

Tel :0959-78-2269 Fax :0959-78-2289

ゆきのうら
特定非営利活動法人 雪浦 あんばんね

年1回のイベントから年間を通した活動に！



取組概要

- ゴールデンウィーク期間中に4日間開催する地域回遊型イベント「雪浦ウィーク」をH11年以来、毎年開催。
- 年間を通した活動の創出に向け、H27年にNPO法人化。カフェレストランを開設するとともに、毎第4土曜日にマルシェを開催。
- イベント時に移住希望者が訪れることから、当法人が相談窓口となって、空き家等の紹介活動を実施。

活動成果

- 住民の自宅や工房などを開放し、開催する「雪浦ウィーク」は毎年1万人を超える来訪者で賑わう。
- 当法人が移住希望者と地域の間に入る支援により、これまでのI・Uターン者の定住は100名を超える。
- 地元小学校の生徒数が、昨年の32人から今年は35人に増加。地元の保育園の園児の数も今年は45名となるなど、子ども達の数が増加。

特定非営利活動法人 雪浦あんばんね
長崎県西海市大瀬戸町雪浦下郷1241

Tel: - Fax: 0959-23-3341

やま うみ さと 山と海の郷さいかい

農泊で地域が輝き、町の人が輝きを取り戻す



「手長海老獲り体験」仕掛け設置の様子



収穫して食べる交流

取組概要

- 農泊実施者によりH28年に設立。構成員28人。当初10軒の農泊事業者を2年で28軒に拡大。
- H28、29年に修学旅行を各年1校受入れ。事務局の旅行者対応など全国から予約を呼び込む体制を構築。
- 農泊実施者は兼業農家・漁家がほとんど。訪れた方々と一緒に畑から収穫した作物や海から採った素材を調理。いつもの当たり前を提供。

活動成果

- 事務局体制の構築で、H31年(2019年)の修学旅行受入は、国内外合わせて7校に拡大。また一般旅行者も毎年増加。
- 町の人を地域や家庭に受け入れることで、生活に張り合いが生じ、地元の景勝地や特産品、歴史や伝統を再認識する機会に繋がった。
- 心からのおもてなしの連鎖が、短期間での事業者、リピート宿泊者、口コミの拡大に繋がっている。

山と海の郷さいかい

長崎県西海市西海町中浦北郷887-1 Tel: 0959-33-2525 Fax: 0959-33-2526

さいかい

西海市農村集落活性化協議会

縮みゆく農村を絆と熱意で拓けています



ふるさと料理教室



里山保全活動による都市との交流(里山畑耕起・コスモス祭)



伝統野菜加工品試食

取組概要

- 市の農林水産物の販売・加工支援及び定住促進等に取り組むため、H28年に8つの関係団体で当協議会を設立。
- 直売所への出荷量減少に対応した庭先集荷サービスの実施、伝統野菜の「枝折れナス」の苗配布、試験栽培と漬物の試作を実施。
- 農村の魅力発信による都市住民の流入を図るため、集落の環境美化、食育活動等を実施。

活動成果

- 庭先集荷により、高齢農家の耕作意欲が持続。農地の荒廃を防いだ。
- 伝統野菜の試験栽培により生産力が強化。直売所への出荷量減少の問題意識を共有し、枝折れなすの漬物作りの取組みに至った。
- 食育活動により、児童・生徒の郷土愛を育んだ。里山保全活動により交流人口が増加。

西海市農村集落活性化協議会

長崎県西海市大瀬戸町瀬戸樋浦郷2278番地2 Tel: 0959-37-0070 Fax : 0959-37-0220

おおみや さいかいしょく

大宮・西海 食の交流促進協議会

食を通じて二つの地域を繋げ問題解決



佐世保市・大宮公園でのマルシェ



東京都・戸越銀座でのマルシェ



試食会の食事

取組概要

- H25年より、佐世保市大宮地区の高齢者等の買い物弱者対策として、福祉団体と連携・共同し宅配等を支援。また西海市西海地区の流通・消費の拡大により農業の活性化を支援。
- 好まれる惣菜メニューの検討のため、大宮市場のお客様を対象に試食会を開催し、ヒアリングを実施。
- 西海の産物を広めるため、西海市・佐世保市・東京都内でのマルシェに参加し販売を促進。

活動成果

- 消費者の惣菜に関する動向を把握することが出来た。また、「西海」に対しての佐世保市民のイメージもわかったため、今後の広報活動のヒントとなった。
- 西海市をはじめとし、佐世保市、東京都等での様々なマルシェへの参加・開催を行うことで、交流人口の増加に繋がった。西海の農産物が十分に評価されること(みかん・芋等)がわかった。

大宮・西海食の交流促進協議会

長崎県西海市西海町横瀬郷3550-3

Tel :0959-32-2345 Fax :0959-29-4121

おおひら

大平食品株式会社

農家と漬物屋で一緒にがまだせ！！



来年に向けた契約農家さんとの契約・防虫対策会議



収穫間近の高菜畑

持ち込まれた高菜の計量と積みおろし

取組概要

- 島原半島の農家と大根、高菜の契約栽培を行い、自社で漬け込み販売。近年、島原半島でも農業者の高齢化が顕在化。先々の原料確保のため、JAごとうが取組む高菜、胡瓜の契約栽培による塩蔵原料を購入。
- 大根、高菜、白菜等の重量野菜は収穫作業と運搬作業が負担となり、生産農家が減少。このため、希望農家への収穫要員派遣と当社が持ち込まれた原菜の積み下ろし作業を実施。

活動成果

- S60年からの契約栽培により、農家は良い生産品ができれば、安定した収入が得られると好評を得ている。
- 島原半島だけでなく、JAごとうに原料を分けてもらうことで、JAごとうはより多くの農家と契約。五島市内の農家の所得の維持、向上にも貢献。
- ここ数年の天候不良により、農作物の不作が農業経営を圧迫。契約栽培により農業継続を支援したい。

大平食品株式会社
長崎県南島原市布津町乙1275

Tel: 0957-72-3350 Fax : 0957-72-4043

みなみしまばら

一般社団法人 南島原ひまわり観光協会

地域が光り輝く観光地を目指して



修学旅行涙のお別れ



インバウンド魚釣り体験



中国小学生修学旅行

取組概要

- 当協会が民泊受入農林漁家(175軒)と体制整備等を支援する市と連携して、農林漁業体験民泊を推進。
- H21年度の受入家庭6軒からスタート。教育旅行の誘致等により、H29年度には約1万人を受入れ、そのうちインバウンドは、台湾、中国などアジアを中心に約1,400人を受入れ。
- 来訪者は家族の一員として、家業体験、食事づくり、団らんを過ごす。

活動成果

- 主に春・秋は修学旅行生を受入れを、オフシーズンはインバウンドの受入れを行い、農林漁家だけでなく、観光産業や近隣にも潤いをもたらしている。
- インバウンドの受入れは、体験を通じ、帰国後の手紙のやり取りなど心と心の交流に結びついている。
- 海外からの修学旅行も多く、市内学校との学校交流があり、市内の学生に国際交流の機会を提供。

一般社団法人 南島原ひまわり観光協会
長崎県南島原市南有馬町乙1395

Tel :0957-65-6333 Fax :0957-65-6336

ひがし

かみ

東そのぎ上地区活性化協議会

農家の生活の安定と地域の活性化



協業化を目的とした先進地視察：鹿児島



新商品パッケージ開発

廃校活用に向けたワークショップ

取組概要

- 茶業の協業化と事業の複合化により農家の生活の安定を図るため、H28年に茶生産農家、グリーンツーリズム団体等により設立。
- 協業化に向けた先進地視察、ブランド向上及び輸出に向けた技術勉強会を実施。
- そのぎ茶のPR活動としてワークショップ、HP等による情報発信、茶の新商品開発等を実施。

活動成果

- 新商品「フレーバーティ」の開発、ワークショップ等の活動により、協議会会員4名が法人化し、国内外へ販路拡大すべく事業展開。
- 完成した商品は、東京の日本茶専門店「おちゃらか」でヒアリング調査を実施。その他のイベントでは、農林水産大臣受賞の緑茶を振る舞う周知活動の実施により集客が増え、交流人口の増加に貢献。

東そのぎ上地区活性化協議会

長崎県東彼杵郡東彼杵町蔵本郷1850-6 Tel: 0957-46-1317 Fax: 0957-46-1430

一般社団法人東彼杵ひとこともの公社

ひがしそのぎ
たしてひがしそのぎ



Sorrisoriso(イタリア語「微笑みの米」)元米倉庫にちなむ



スパイスカレー店



そのぎ茶生産者会議

取組概要

- H27年に取り壊し予定の農協米倉庫を借り上げ、改装し、店舗を併設した交流の場づくり(施設名Sorrisoriso)に着手。
- 以降、この施設に3店舗がテナントとして開業。さらに当公社のサポートにより近隣に3店舗が出店。
- 開業される者は移住者が多く、行政や地域への紹介、空き家の紹介等開業をサポート。特産の茶と地元の米を活用したワッフルを商品開発。

活動成果

- 開業した店舗は、アンティーク家具・古着、スタンドコーヒー、革卸・革製品販売、スパイスカレー専門店、自家製酵母パン、オーガニックレストランであり、商店が少ない地域の活性化に貢献。
- 地域の店舗の増加や商品開発などを通し、メディアに取り上げられることも増え、若い方を中心に活動を希望する者が増加。茶農家の組織化にも貢献。

一般社団法人東彼杵ひとこともの公社

長崎県東彼杵郡東彼杵町瀬戸郷1303-1 Tel:0957-20-1883 Fax :0957-20-1883

ひがし

東 そのぎグリーンティーズ協議会

初めて体感する、心地よいお茶のリズム♪



町内で一番美しい茶畑「タブの木」



茶農家がガイドとなり、茶畑を歩く



インバウンドツアー「将軍トレイル」

取組概要

- 特産のお茶を活かしたグリーン・ツーリズムに取り組むため、H27年に茶農家5戸と行政で協議会を設立。
- 主にイギリス人対象の2週間の日本ツアーにおいて、約3時間の滞在を受入れ。H28年は計15回、約200人に茶畑の散策、お茶の淹れ方のレクチャー、茶農家での田舎料理を提供。
- H28年より3軒の茶農家が茶畑ガイドウォークなど体験型民泊を提供。

活動成果

- 茶畑は霧深い山間部や海を見渡す高台に位置し、旅行者はこのような環境で作られるお茶に出会う喜び、地域は誇りを持って作ったお茶を知ってもらえる喜びがあり、喜びの共有ができ、「そのぎ茶」が魅力的な観光資源であることに気づかされた。
- 民泊やツアーでの受け入れにより農業外収入が増え、また「そのぎ茶」をお土産に選んでももらえる機会も増えて、経済効果も出てきている。

東彼杵町ふるさと交流センター
長崎県東彼杵町彼杵宿437-1

Tel :0957-46-0900 Fax : 0957-46-0323

は さ み ひがし

波佐見東地域集落活性化協議会

陶・農の里 はさみ



ファーマーズマーケット 高校生による試食サービス



軽トラでの地域イベントへの参加



休耕地を活用した高校生の農業体験

取組概要

- 地元の有機野菜にこだわって「西の原ファーマーズマーケット」を毎月、第3日曜日に開催。
- 地区内の休耕地を利用した種蒔き・収穫に、器づくり(波佐見焼き)の陶芸体験を組み合わせた体験塾(そば塾・米塾・味噌塾)を開催。
- 近隣の2つの高校と連携し、棚田で田植えから刈り取り脱穀まで行い、収穫された米でお菓子づくりを実施。

活動成果

- 飲食店が地元食材を使った料理の提供を始めたり、地元の高校生がファーマーズマーケットの運営に参加してくれるなど地域に地産地消の機運が芽生えてきた。
- 集落ごとに自ら交流する農業体験塾は波佐見ならではの取り組みであり、種まきから収穫までの年3回から4回来てもらうことで都市住民との交流が進展。
- 2校の高校生は生産に関わった米の米粉で商品開発を行っている。

波佐見東地域集落活性化協議会

長崎県東彼杵郡波佐見町井石郷2255-2

Tel :0956-85-2290 Fax :0956-85-2856

特定非営利法人 おぢかアイランドツーリズム協会

小さな島から世界に向けて！



お見送り



お菓子作り体験



魚さばき体験

取組概要

- 当協会は、小値賀島観光のワンストップ窓口として、H19年度より民泊（受入家庭は現在約30軒）、「古民家ステイ」などに取組んでいる。
- 民泊では一般の漁家・農家での食事・宿泊、郷土料理づくり、魚釣り、魚さばきなど受入家族とともに「島の日常」を体験。
- H22年より修学旅行（2泊3日）を受入れ。受入れ実績は年間3～6校。

活動成果

- 民泊事業により交流人口が増加。民泊が高い評価を受け、マスコミ等で取り上げられたことで来町者も増加。
- 農林漁業体験型民宿や体験インストラクターの開業に結びつくなど、町全体の活性化に大きく貢献。
- 町民が、食文化や生活文化、自然環境など島の魅力を再発見し、それを来島者へ伝えることで、地元を大切にする気運が高まってきた。

特定非営利活動法人 おぢかアイランドツーリズム協会

長崎県小値賀町笛吹郷2791-13

Tel: 0959-56-2646 Fax: 0959-56-3530

しんかみごとうちょう

一般財団法人新上五島町振興公社

ふれて感じる、つばきの魅力



取組概要

- 五島列島は全国でも有数の椿油の産地。椿油の品質の良さを実感してもらい、販売促進にも繋げるため、椿油搾油体験施設をH23年にオープン。
- 移住希望者向け田舎暮らし体験ツアーや海運会社実施の五島うどんの食べ歩きツアーで搾油体験を提供。
- 地元の緑の少年団や小中学生、県内外の大学生のフィールドワークでも搾油体験を提供。

活動成果

- 五島列島が日本一の椿の自生地であることや長崎県の椿油の生産量は全国で一、二を誇るということ、その効果等の認知度が上昇。
- 椿油の効果や使用方法等を知ること、使用経験のない方々が、椿油や関連商品を購入され、地域の特産品振興や販売店の売上増に貢献。
- 地元小中学生や島外の学生の受け入れにより、歴史・文化を継承。

一般財団法人 新上五島町振興公社

長崎県南松浦郡新上五島町小串郷1071番地2 Tel: 0959-55-3219 Fax: 同左

郷土料理研究会

400年前の味で島興し～『紀寿し』復活～



現在の郷土料理研究会のメンバー



「紀寿し」の加工



「紀寿し」の他、「厚焼き」等郷土料理

取組概要

- 当奈良尾地区の住民は400年前に紀州（和歌山県）から魚群を追って移り住んだ人がルーツとされ、古くから伝わるアジの姿寿司「生寿し」にも色濃く反映。
- 当会は、「生寿し」の継承等を目的にH17年より活動。田辺市の漁協で姿寿司の加工法を研修。H23年に加工場を整備。「生寿し」から「紀寿し」に改名し商品化。
- 島内でのイベント、直売所等で販売する他、地元小・中・高で魚料理教室を開催するなど食育・魚食普及活動も実施。

活動成果

- 販売イベントやマスコミ取材などによる情報発信等を通じ、「紀寿し」は売り上を伸ばし、上五島を代表する郷土の味として定着。
- 部員の減少などにより一時売上は減少したものの、地元からの熱烈なオファーにより売上は回復傾向。
- 「紀寿し」等の郷土料理は町内全域に周知され、毎月第2日曜日開催の朝市では短時間で完売する。

郷土料理研究会

長崎県新上五島町奈良尾郷379-3 Tel: 090-2713-5038(杉) Fax: 0959-44-1214